

【NEWS RELEASE】

2020年9月17日

SMBC日興証券株式会社

GLP投資法人のサステナビリティボンド引受けのお知らせ

SMBC日興証券株式会社は、この度、GLP投資法人(執行役員:三浦 嘉之、本社所在地:東京都港区、以下「本投資法人」)が発行するサステナビリティボンド(以下「本サステナビリティボンド」)の引受けにおいて、事務主幹事及びサステナビリティボンド・ストラクチャリング・エージェント*を務めましたのでお知らせいたします。

本投資法人は物流特化型のJ-REITで、物流REIT最大の物件数を有しています。また、スポンサーであるGLPグループは、日本において国内最大の物流施設運営事業者であるだけでなく、世界各国で物流施設の保有・運営・開発を行い、物流不動産マーケットをけん引するグローバル企業です。

本投資法人は、環境保護に最大限の配慮を行い、また、従業員、顧客、地域社会の健康と安心の保護に貢献していくという社会的責任の下、環境、社会、ガバナンスに関する方針(ESG方針)を含む各種方針を策定・表明し、ESG方針に則って、さまざまな取り組みを会社ベース及び投資物件ベースで行っています。現在、本投資法人が推進している取り組みは以下の通りです。

- (1) 保有する個々の施設の環境性能に関する各種環境認証の取得
- (2) 地方自治体と災害時や緊急時の復興支援拠点及び避難拠点として活用されるための協定を締結
- (3) 災害発生時に当該地域から避難場所の提供を求められた場合に、一時避難場所として地域住民に開放
- (4) 災害発生時に自治体等からの要請に応じて、災害派遣や緊急消防援助隊等の車両待機場所を提供

本投資法人は今回新たに環境保全に加え、社会的課題解決にも資するプロジェクトの資金調達を目的としたサステナビリティファイナンスを行う事で、今後も更なるESG活動を推進するとともに、ESG投資に積極的な投資家層の拡大による資金調達手段の拡充を目指しています。また、このような環境保全及び社会的課題解決のいずれにも資する取り組みを実施していることを広く周知することが、更なる地域社会の健康と安心の保護にも繋がると考え、J-REITで初となるサステナビリティボンドの発行を決定しました。本サステナビリティボンドの発行による調達資金は、全額を2021年7月1日に満期を迎える借入金(調達資金はサステナビリティ適格資産の基準を満たす特定資産であるGLP横浜の取得のための借入金に全額充当)の期限前返済資金に充当される予定です。なお、GLP横浜は災害発生時における地域自治体との協力体制の構築を図り、横浜市鶴見区と「津波発生時における施設等の提供に関する協定書」を締結しており、GLP横浜の免震性、立地、地域との関係性等が避難施設として高い評価を受ける先進的な物流施設です。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

当社では、金融・資本市場におけるビジネスを通じた環境・社会課題の解決のため、専門部署である「SDGs ファイナンス室」



を設置し、ESG の推進に積極的に取り組んでおります。この度の引受けは、当社におけるサステナビリティボンド及び SDGs ファイナンスに係る知見を示すと同時に、日本における ESG 投資、ESG をテーマとした商品の更なる拡大に繋がるものと考えております。また、本サステナビリティボンドの引受けを通じて、当社は SDGs の掲げる「すべての人に健康と福祉を」、「ジェンダー平等を実現しよう」、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「働きがいも経済成長も」及び「気候変動に具体的な対策を」の目標達成に貢献していきます。

※ サステナビリティボンドのフレームワークの策定及びセカンドパーティー・オピニオン取得の助言等を通じて、サステナビリティボンドの発行支援を行う者。

【今回発行される GLP 投資法人第 15 回無担保投資法人債(特定投資法人債間限定同順位特約付)(サステナビリティボンド)(別称:GLP サステナビリティボンド)の概要】

名称	GLP 投資法人第 15 回無担保投資法人債(特定投資法人債間限定同順位特約付)(サステナビリティボンド)(別称:GLP サステナビリティボンド)
年限	10 年
利率	0.510%
発行額	50 億円
条件決定日	2020 年 9 月 17 日
払込日	2020 年 9 月 25 日
償還日	2030 年 9 月 25 日
JCR サステナビリティファイナンス・フレームワーク評価	SU1(F)(最高評価)
取得格付	AA(JCR)
サステナビリティボンド・ストラクチャリング・エージェント	SMBC日興証券株式会社

以上